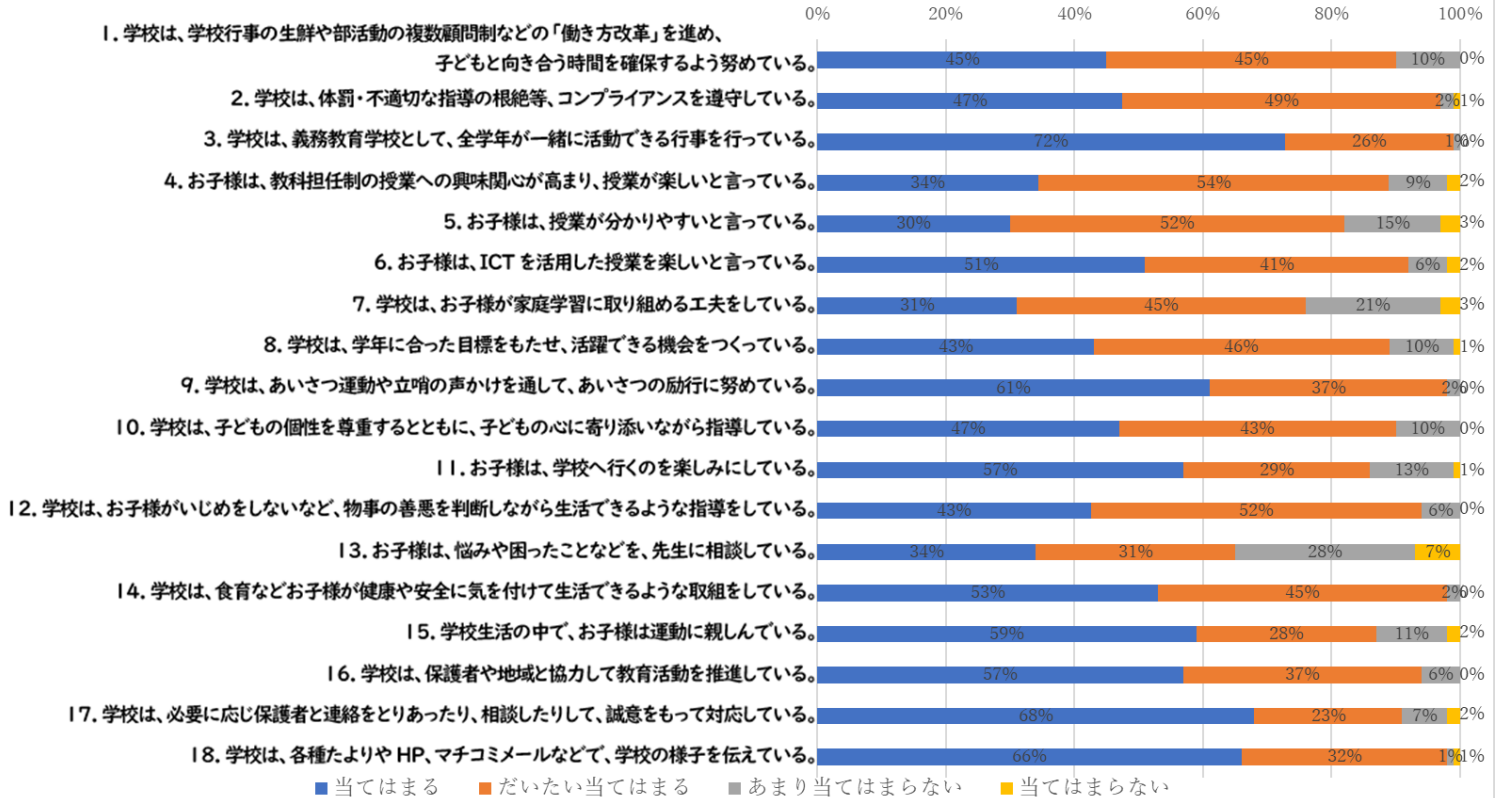




令和5年度第1回学校評価アンケート（7月・保護者対象）の結果から

7月上旬に行いました学校評価アンケート（保護者対象）の結果をお知らせします。学校HPには、児童生徒対象、教職員対象も併せて掲載しておりますので、ぜひご覧ください。これらの結果を真摯に受け止め、今後の指導・業務改善に努めていきたいと思ひます。アンケートへのご協力をありがとうございました。

令和5年度7月 学校評価アンケート（前期課程保護者）

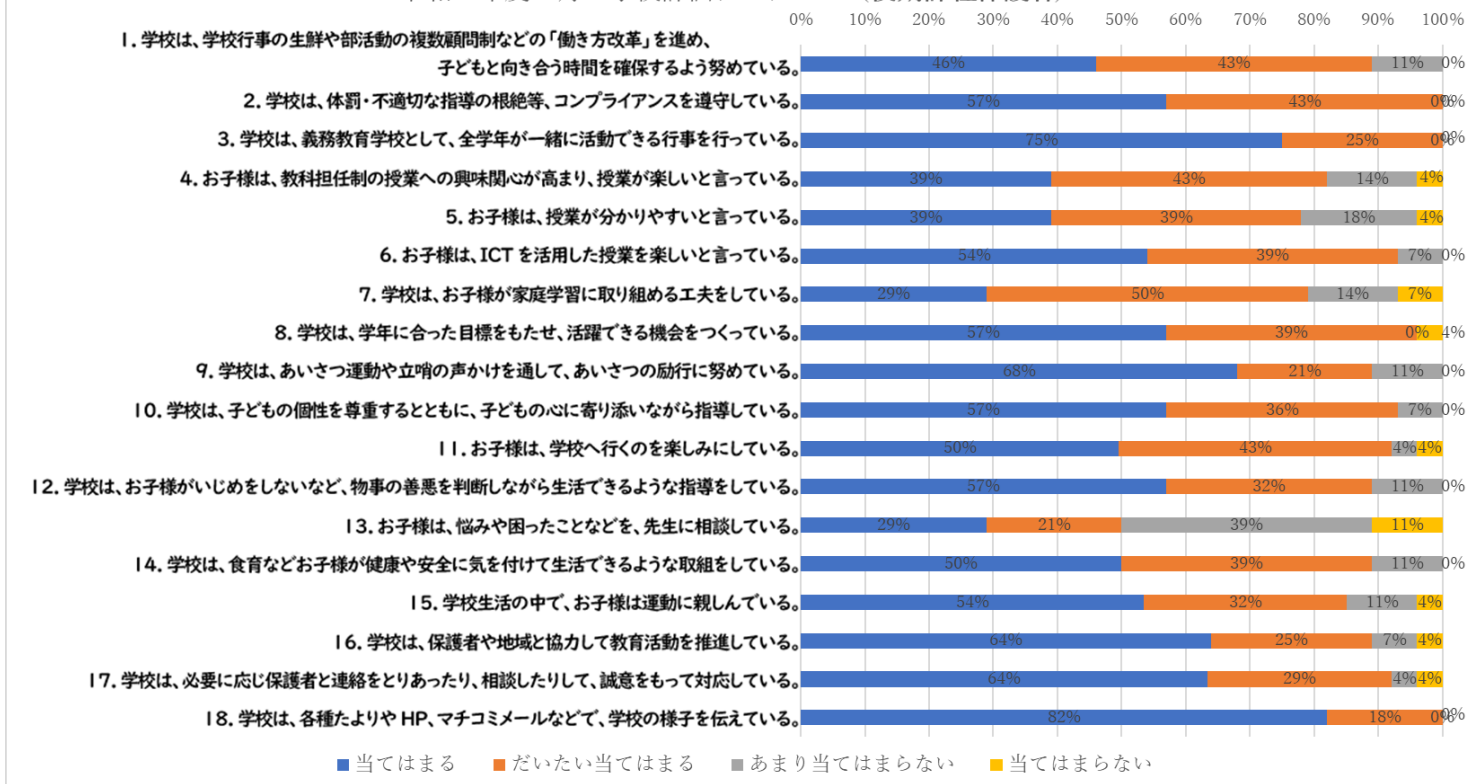


【前期課程保護者にいただいた成果】

- 「3 学校は、義務教育学校として、全学年が一緒に活動できる行事を行っている。」という質問に対し、肯定的回答の割合は98%でした。5月8日に新型コロナウイルス感染症が、感染法上第5類に移行したこともあり、学校では、全学年やブロックごとなどで行う活動を多く取り入れています。6歳から15歳までの児童生徒が在籍する本校の強みを生かした異学年交流を行うことで、自己肯定感や豊かな心を育てていきたいと思ひます。
- 「4 お子様は、教科担任制の授業への興味関心が高まり、授業が楽しいと言っている。」という質問に対し、肯定的回答の割合は88%でした。R4.12月の保護者アンケート結果と比較すると、6.5ポイント増加しました。教師の専門性を生かした「分かる・楽しい授業づくり」の成果であると考えます。
- 「5 お子様は、授業が分かりやすいと言っている。」という質問に対し、肯定的回答の割合は82%でした。R4.12月の保護者アンケート結果と比較すると、4.2ポイント増加しました。教科担任制を実施していることに加え、本校の校内研修テーマである「ICT活用とこれまでの教育実践のベストミックスによる授業改善」の成果が現れてきていると考えます。



令和5年度7月 学校評価アンケート（後期課程保護者）



【後期課程保護者にいただいた成果】

- 「2 学校は、体罰・不適切な指導の根絶等、コンプライアンスを遵守している。」という質問に対し、肯定的回答の割合は100%でした。学校では、毎月コンプライアンスに係る研修を行い、意識の高揚を図っています。これからも、生徒の気持ちを理解しながら、体罰によらない温かみのある指導を行っていきます。
- 「8 学校は、学年に合った目標をもたせ、活躍できる機会をつくっている。」という質問に対し、肯定的回答の割合は96%でした。R4.12月の保護者アンケート結果と比較すると、5.1ポイント増加しました。今年度は、ブロックごとに目指す生徒像を設定し、教育活動を行っています。引き続きその目標を教職員及び生徒が意識し、その達成に向けて一人一人が活動に主体的に取り組めるよう支援していきたく考えています。
- 「10 学校は、子どもの個性を尊重するとともに、子どもの心に寄り添いながら指導している。」という質問に対し、肯定的回答の割合は93%でした。R4.12月の保護者アンケート結果と比較すると、11.1ポイント増加しました。生徒への言葉かけや二者面談等の中で、先生方が共感的理解を示しながら指導をしている成果であると考えます。また、日頃から教職員間で情報共有を密にし、多くの教職員で協力しながら生徒一人一人に接していることも、成果につながったと考えます。

【前期課程・後期課程に共通する課題】

- 「7 学校は、お子様が家庭学習に取り組める工夫をしている。」という質問に対し、肯定的回答の割合は、前期課程：76%、後期課程：79%でした。改善策として、「家庭学習の手引き」の内容を見直したり、児童生徒の端末に家庭学習の手引きを保存し、いつでも活用できることを再度児童生徒に説明したりしていきます。また、ICTを活用した家庭学習の仕方・内容をより幅広く周知することで、児童生徒が自ら学ぶ意欲を高めていけるよう支援していきます。
- 「13 お子様は、悩みや困ったことなどを、先生に相談している。」という質問に対し、肯定的回答の割合は、前期課程：65%、後期課程：50%でした。「先生に相談するのはちょっと・・・。」と考えている児童生徒が見られることから、学校としては、定期的な生活アンケートや二者面談の実施、オンライン相談窓口の活用などを通して、より相談しやすい雰囲気をつくっていきたく思います。

（文責：野尻）

